

## 平成26年度 沢地小学校区きずなづくりトーク トークまとめ

7月3日(金)に開催された「沢地小学校区きずなづくりトーク」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。トークのまとめができましたので、送付いたします。

なお、沢地小学校区では、【防災訓練】【子どもの健全育成】【高齢者】の3つの分野について、意見交換や情報共有が行われました。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)



皆さん、ご参加ありがとうございました。

### 【当日参加団体一覧】

団体名		
富士ビレッジ自治会	スポーツ推進員	沢地小学校
沢地町内会	体育振興会	沢地小学校 PTA
千枚原町内会	光ヶ丘白光会	三島北中学校 PTA
光ヶ丘3丁目町内会	千枚原千寿会	学校支援地域本部
富士見台自治会	消防団第3分団	北上地区地域包括支援センター
交通安全母の会	消防団第4分団	地域づくりコーディネーター
エコリーダー	沢地幼稚園	富士見台子ども会
環境美化推進委員会	沢地幼稚園 PTA	光ヶ丘一丁目子ども会

※当日参加者 27 名

アンケート：分野ごと最も話したいテーマについて、参加者の希望を伺いました。



### 【会場アンケート結果】

	検討テーマ
防災訓練	①実践に合わせた訓練内容を考えよう！・・・・・・14人 ②要援護者の把握方法と救助方法を考えよう！・・・・・・9人
子どもの健全育成	①子どもと地域の交流の場（機会）を増やそう！・・・・12人 ②下校時の見守りを強化するには？・・・・・・9人 ③子ども会のサポートについて地域で考えよう！・・・・2人
高齢者	①地域全体で高齢者の見守りを進めよう！・・・・・・12人 ②高齢者のコミュニケーションの機会を増やそう！・・・・14人 ③その他・・・・・・1人

### ※「地域の取り組み・課題集」の訂正

「地域の取り組み・課題集」の10ページ・1行目の表記を一部下記のように訂正させていただきます。

誤:「3年前に光ヶ丘県営住宅の子どもがいなくなり～」

正:「3年前に光ヶ丘市営住宅の子どもがいなくなり～」

下記のテーマにもとづいて発言された内容について、現状・課題を「今まで」、課題解決につながる取り組み・アイデアを「これから」に分類し、まとめました。（○：参加者発言 ●：市長発言）

## 【防災訓練】

今まで	これから
<p>テーマ① 実践に合わせた訓練内容を考えよう！</p>	
<p>○9/1 は炎天下の中なので訓練時期を見直すべき。</p> <p>○今までのように地域で一斉に同じ訓練をするのではなくて、地域で必要と思われる訓練をやっていくのはどうか。</p> <p>○昨年、前年度の自治会長を中心に、校区で避難所運営の別部隊を作ろうという案が出た。</p> <p>○避難所の中なども、ペーパー上ではシミュレーションできているが、実際に訓練をしたことは一度もない。避難所で実際にシミュレーションする訓練を考えている。</p> <p>○人口が減り、高齢化になっていて、おそらく老人会も子ども会も町内会も、組織の衰退化が著しいと思う。今まで一生懸命やってきた人が、さらに新体制を背負って立つのかと非常に疑問。心配。自主防災会はどうなるのか。</p> <p>○この中でAEDを使える方はどれくらいいるのか。子どもが運動会で倒れた、あるいは高齢者が倒れた等、本当に一刻を争う場合が多いので、なるべく多くの人が使用できるようになることが必要だと思う。</p> <p>○光ヶ丘1丁目にはAEDが保育園にしかない。一つでは足りない。数を増やしてほしい。</p>	<p>●訓練日に関して、9月1日は「防災の日」、12月最初の日曜日が「地域防災の日」。9月の訓練だと中学生は部活があり参加しにくい。長伏などは12月に訓練を実施。中学生の参加を募るには、校区全体で訓練日を統一してほしいという声もある。</p> <p>○即、実践できる、やってよかったという訓練内容を考えたい。今までやってきたことを踏まえた上で、さらに発展させなければならない。</p> <p>○地域で隣近所で必要な、地域の実状にあった訓練内容を考えよう。</p> <p>○千枚原は高台にある。山崩れなど過去にはない地域だが、もしあったらどうなるのか、そういう実践的な問題を考えていきたい。</p> <p>○8/24に、避難所（沢地小体育館）運営訓練を行う予定。先日8町内が集まった。各自治会長は町内のことに関わるため避難所にはいないので、各自主防災会の人達を5～6名選んで、その人たちに会合に出てもらい話を進めている。8/24は実際に避難所に入ってみて、どういう場所をとるかなどの訓練をやることになっている。</p> <p>○避難に関しては、避難所の収容人数や、何をすべきか分からないことばかり。今回、8/24にやることは一歩かもしれないが、それが積み重なっていけば、色々なことが分かり、色々な方向性が見えてくるのではと期待している。</p> <p>●避難所は自宅が倒壊や火災により住めなくなってしまった方が使用する。錦田小学校区では避難所運営する方と自治会・自主防災会の指揮する方は別になっている。参考になると思う。</p> <p>○まずAED設置場所の確認、使用方法等を、防災訓練の一環としてやるべきだと思う。</p> <p>●現在、AEDの設置場所、使用法はスマホでわかるようになっている。AED訓練を防災訓練で取り入れてほしい。</p> <p>●町内会で相談して、集会場に置く、小児科などに設置をお願いに行くなど、検討してほしい。「鳥居歯科医院」にもう1台あるようなので、確認してほしい。</p>

今まで	これから
<ul style="list-style-type: none"> <li>●消防団は消火活動を行う。救急車は三島市内に4台のみ(人口3万人に1台)。阪神淡路大震災の時には、8m以下の道路は全て通れなかった。</li> <li>●「黄色いハンカチ作戦」について、災害時、我が家は無事という方は、玄関にハンカチを掲げておくことで、安否確認が容易になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民体育館に AED は 3 台あるので、スポーツ大会の時などには市民体育館から借りてほしい。</li> <li>●倒壊した建物から人を救出・救助・搬送するのは、地域の人たち。そういったことに備えた訓練をしてほしい。</li> <li>●用事があつて訓練に参加できない人も、参加していることを示すため玄関に掲げるなど、訓練時から活用してほしい。芙蓉台の取り組みを参考にしてほしい。</li> </ul>

**テーマ② 要援護者の把握方法と救助方法を考えよう！**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○要援護者の中には障がい者も子どもも入っていて、高齢者だけではない。個人情報の問題や、知られたくない人もいる。</li> <li>○多分、どこの地域も昼間は高齢化率が非常に上がってしまう。</li> <li>○実際に救助して小学校に集まったら、トイレや食事の問題も生じる。そこにしか物が集まらないので、集会場に行っても、たぶん誰も弁当もパンも持ってきてくれない。そういうことを考えると何をどこから話を詰めていけばいいかわからない。</li> <li>○今年の春に会長になり、引き継ぎで要援護者の名簿を頂いた。それには厳重に「取り扱い注意」となっていて、会長と自主防災委員長しか知らない。口頭で町内会役員だけには伝えてあるが、二人しか知らない状況では何もできないと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日中昼間、災害が発生した場合はどうするかという訓練、シミュレーションが必要ではないか。</li> <li>●要援護者リストを活用して、各町内、自主防炎会で要援護者をどうサポートしていくか、体制づくりを進めていただきたい。救助は必要ないという方のリストは、封をして自治会長に渡すので、災害発生時に封を開けて安否確認をしてほしい。</li> </ul>
--	--

**【子どもの健全育成】**

今まで	これから
<p><b>テーマ① 子どもと地域の交流の場(機会)を増やそう！</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育振興会では毎月1~2回、日曜日にトリム事業を行なっているが、参加が少ない。親が参加しないと子どもも参加しない。そもそもトリム事業を親が知らない。また回覧板は親が見るだけで、子どもは見ない。</li> <li>○幼稚園や小学校で絵本の読み聞かせを行なっている。働いている母親が増えていることもあり、最近では地域の方が少し参加してくれている。</li> <li>○子どもが幼稚園や小学校で、老人ホームや作業所を訪問し、子どもたちも交流を楽しんでいるが、単発で終わってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周知方法について、少しずつ改善しないといけないのではないか。子どもではなく、まず親世代を巻き込み、子どもも巻き込んでいく方法がいいと思う。具体的な方法ではないが、そういう気持ちで毎年役員をやっている。</li> <li>○子どもにとってもいい活動だと思つるので、もう少しオープンにして、多くの方が参加できる仕組みがあるといいと思う。</li> <li>○老人ホームなら近くにもある。気軽に参加できるニーズがあるか分かるといい。例えば入所されている方に、子どもが得意なピアノを弾く、話をする等の気軽に参加できる、ボランティア活動などの情報があればいいと思う。</li> </ul>

今まで	これから
<p>○昨年度、光ヶ丘白光会では県老連の関係で、沢地小児童クラブと11月から4回交流を行なった。低学年(1~3年)の30人ほどの児童と、輪投げや紙芝居、凧揚げ等を行なった。子どもは新鮮に感じるのか大変喜んでくれ、やって良かったと思う。1月は予定をしていなかったが、子ども達がありがたいの気持ちを込めて、AKB48の歌を歌ってくれた。</p> <p>○「ラサンテ芙蓉」では、幼稚園の発表会の練習を老人ホームで行なっていて、お年寄りも一生懸命練習する姿を見て喜んでいる。</p> <p>○地域には、定年退職された有能な方が多くいらっしゃる。そういう方の能力を使わない手はない。</p> <p>○学校支援地域本部から、沢地小の支援要請案内(1.放課後の学習支援、2.花壇の環境整備、3.各種の補助作業)が全戸配布されている。</p> <p>○子どもは縦(異学年など)のつながりと、横(地域や団体との係わり)のつながりが、成長に欠かせない。沢地地区は色々な学校サポート、子どもサポートなどの地域の交流の場があると思う。ただそれがばらばらに点在している気がする。何かやりたいと考えてくれている方は多く、その声が沢地小学校に届く。</p>	<p>○大人も子どもも両方ハッピーになる。そういう交流が地域で盛んになればいいと思う。</p> <p>○施設側(老人ホームなど)は、多分、子ども達が来てくれることを望んでいる。人数が多くなると大きい施設でないと難しいと思うが、少人数ならば、日程が合えば、どこでも喜んで受け入れてくれる体制になっていると思う。</p> <p>○もしかしたら当たって砕けるで足を延ばせば、交流の機会が生まれるかもしれない。</p> <p>○子どもと大人の交流の事例で、お互いがハッピーになることは皆さん分かっていると思うので、やはり交流の機会を、情報交換しながら増やしていけたらいいと思う。そういう情報を出し合う場も工夫して見つけられるといいと思う。</p> <p>○団塊の世代の方が暇になってきているのだから、そういった方を活用し、子どもとの交流の場をどんどん増やしていくことは重要だと思う。地域の活性化にもなる。</p> <p>○ぜひ自治会等で取り組むなど、応募していただきたい。</p> <p>○一度、地域の交流の場を図にしてみるといいかもしれない。色々な集まりがあること、全体像がわかる。例えば体育振興会はこういう会をやっているなど、また、コラボできそうなところ、この団体はこの団体と一緒に活動してみるなど、発展があるかもしれない。</p> <p>○学校支援地域本部のコーディネーター、あるいは地域づくりコーディネーターの方たちが、校区の団体や会などの関係図を作ってみると面白いかもしれない。</p>
<p><b>テーマ② 下校時の見守りを強化するには？</b></p>	
<p>○下校時の見守りを15年程やっている。最初のうちは、人数は足りていたが、現在は非常に少ない。今年2名増えたので、少しは良くなった。</p> <p>○声をかけてもなかなか了承してもらえない。何かいい方法があればと思うのだが。</p> <p>○富士ビレッジも朝は4名出てくれているが、帰りは2名。</p> <p>○沢地地区には、途中で人家も何もなくて非常に危険な場所があるので、ほとんどの子どもを自宅近くまで送っていく。</p> <p>○自治会長をしていた4年程前、倉庫に帽子や腕章が多数あったので、犬の散歩時などに身につ</p>	<p>○他県で子どもへの事件があった頃、自治会の回覧で「特に下校時の見守りをぜひお願いします」という要請をし、1人参加してくれた。そういう方法も可能。</p> <p>○大人の目を多くすることが犯罪抑止力になる。今は下火になっているが、そういう気軽に参加</p>

今まで	これから
<p>けるよう呼びかけたところ、10人ほどの応募があった。「朝や下校時必ず立たなくていい、ゆるやかに」ということで、しばらく続いていたが、その名簿を沢地小に提出したところ、沢地小から色々な案内が来て、荷が重くなり大変だという問題があった。今は確実に立ってくれている人の名簿だけ沢地小に提出している。</p> <p>○色々な人の集め方があって、コアになる方と周辺のサポートする方という、2段構えでやっていくことになるのだと思う。</p> <p>○「気軽な気持ちでやっていただく」ことが、細く長くやっていく上で必要だと思った。それをどのように皆さんにアピールしていけばいいのか。</p>	<p>してもら、ゆるいやり方もあるのではないかな。</p> <p>○帽子や腕章など、校区で統一した方がいいのではないかな。ばらばらだと、それらしい帽子を被っているのを見て、子どもは安心してしまう。逆に誘拐の手段とされる可能性がある。</p> <p>○犬の散歩の人にもう一回アプローチするのか、それとも何か他の方法で見守り体制を築いていくのか。サポーターの裾野をどうやって広げていくのか、作戦会議が必要かと思う。</p> <p>○「不安だからやらない」ではなく、「もしかしらできるかな」というくらいの気持ちで、まずやってみることが1つの秘訣かと思う。</p>
<p><b>テーマ③ 子ども会のサポートについて地域で考えよう！</b></p>	
<p>○子ども会も消防団も現役世代が担う。現役世代は仕事をしているため、行事に参加しにくい。仕事や家族との関係もある。入会することで責任を負う。ここに来ている子ども会の会長は本当に偉いと思う。大変だが、頑張ってもらいたい</p> <p>○子ども会から勧誘があった時、役員になると負担が増え大変だと聞いていたので、入会を悩んだ。結局、周りが入れば子どもも入り、結果、会長になってしまった。やはり会長の成り手がいなくて、なんとなく決まった。</p> <p>○行事が負担になってしまうと、毎年退会してしまう子が出てくる。また、クラブチームや習い事で土日に出られないからと途中で退会される方もいる。そうなると寂しい。</p> <p>○例年、役員は6年生の親がやるが、4人しかおらず、全員フルタイムで働いている。その中で子ども会を運営していくのは、とても大変なこと。</p> <p>○実際に色々やりたいと思ってもできないのが実情。ドッジボール大会に向けて、ここ3日間毎日練習がある。今日もぎりぎりまで練習して、ここに駆けつけたが、「帰ったら子どもの宿題を見なくてはいけないな」と心の中では思っている。</p> <p>○核家族が増えているので、子ども会役員は火の車状態。子どもには色々なことをさせてあげたいという葛藤の中、活動している。</p> <p>●子ども会の現状は、あちこち役員不足で崩壊している。市内に子どもは6,000人強いるが子ども会に入っている子どもは2,000人ほど。</p>	<p>○地域の皆さんから「子ども会が必要だ」という、当たり前のことを言ってもらいたい。そうすれば子ども会に入るようになると思う。子ども会も消防団も、黙っていても入るようになればいいと思う。</p> <p>○なんとか日々の生活の中でも子どもたちと楽しく過ごせるように、でも簡単に、役員の皆で活動したいと思っている。</p> <p>○自分が子どもだった頃、子ども会はすごく楽しかった。地域の方にも古紙回収等いつも協力していただき、とても大事な活動だと思う。色々な面で地域の方には感謝している。</p> <p>●北小ではPTA育成部長が子ども会地区長を兼ねていて、ドッジボール大会はPTAと子ども会が共催している。そのように、ぜひPTAが子ども会をサポートすることを検討してほしい。また、子ども会の活動については、地域の皆さんがサポートしてあげてほしい。</p>

## 【高齢者】

今まで	これから
<p><b>テーマ① 地域全体で高齢者の見守りを進めよう！</b></p>	
<p>○最近は個人情報保護などで、なかなか難しい。 ○高齢者は民生委員の方とは話しやすいのかなと思うが、民生委員 2 人で 500 戸ほどを見るのはおかしい。</p>	<p>○やはり自治会と民生委員が連携して、実態を把握するのが第一だと思う。富士見台は、わりと隣近所の付き合いがあるので、隣近所でサポートするのもいいのかなと思う。</p>
<p><b>テーマ② 高齢者のコミュニケーションの機会を増やそう！</b></p>	
<p>○富士ビレッジでは1月からコミュニティカフェを開いている。13 人程のスタッフ(ボランティア)が月に一回実施している。集会場で 10～15 時まで開店して、コーヒー、お茶などを出し、お菓子を食べたり、時にはスタッフがおはぎを作って迎えたり、100 円会費でやっている。1月の当初は 60 数名集まり、今は平均 30 名前後集まっている。中には 80 歳を越えたおばあちゃんもいて、この日を楽しんでいる。 ○富士ビレッジの老人会もつぶれて、老人会を再建することを検討したけれど難しい。佐野見晴台ではやはり老人会が解散して、各サークルの連絡会という形で老人会をやっている。入ると色々拘束されるので、市には入らない。ビレッジでもその方向でやってみたが、難しかったので、「三島のまちをゆっくり歩こう会」というサークルを立ち上げ、今 40 数名のビレッジの方が入っている。箱根方面を歩くのだが、20 数名が参加している。初めて知る方との出会いが多くあった。</p>	<p>○7/30 にはマジックのイベントを行う。そういうことをやると人が集まりやすい。これからどうやって続けていこうかということはあるが、とりあえず続いている。  ○サークル、趣味の集まりも大切ではないかと思う。 ○組織より場ということ。サロンなど、そういう場があることが気楽な交流を実現させる。ゆるいサークルというスタイルならば、活動しやすい。先程の子ども会も今の提案を参考にされると、新しいやり方ができるかもしれない。</p>
<p><b>テーマ③ その他</b></p>	
<p>○今、お話を伺っていると、老人会も子ども会も自主防災会も同じだと思う。なんとかしなくてはいけないけれど、どうしたらいいのかということ。 ○千枚原では、三島市子ども会連合会を脱会したが、子ども会は活動している。老人会も1つの老人会がなくなり、二つの老人会が北上老人クラブ連合会を脱会した状況だが、「連合会は抜けても芸能祭は出たい」、「よその老人会と一緒にやらせてくれないか」など、本来の交流はみんなやりたいと思っている。</p>	<p>○お年寄りが頑張らないと地域が良くなっていかない。お年寄りが参加して、やりやすい会の方法を考える。どういう形でやっていくかが大事。 ○なぜ組織から抜けていくかをもう少し皆でしっかり、行政も含めて考えて、配慮していけば、なんとか良い地域ができていくと思う。 ○子ども会も老人会も地域に必要な組織。もっと自分達で気楽に、地域の特色を持ってやりたいという気持ちだと思う。それを考えていくべき。 ○今までの仕組みでものを考えるのではなくて、仕組みを見直そうということだと思う。子ども会、老人会は今までの仕組みの中でどうしようかと頑張っている話があったが、そこも一回、形を考え直してはどうかという提案。大胆かもしれないけれど、大事なことだと思う。</p>

今後の地域活動の参考にしてください！